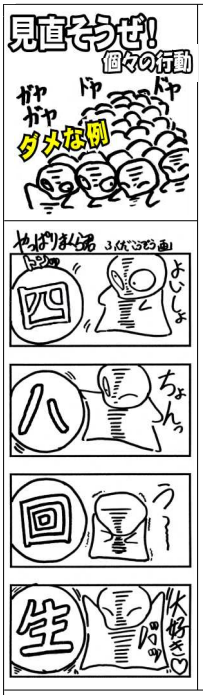
第参学年週刊情報誌
学年通信
48回生版



兵庫県立伊川谷高等学校 創立50周年記念式典

記念式典の様子

令和7年11月8日(土)　伊川谷高校にとっての一大行事、『創立50周年記念式典』が実施されました。場所は神戸文化ホールです。12時17分、予定では点呼完了2分後なのですが、まだまだ点呼は続いています(泣)。

13時、ブザーと共に式典の開始です。式典に先立ち、本校関係者の物故者追悼が行われました。開式のことばでは、学校長から来賓の方々へ感謝の意や本校教育方針・歴史等が述べられました。ここでは生徒達もシ～ンとしてくれていましたが、教育次長の話あたりからガマンできずにごそごそと…。何人かは式次第を丸め、新大陸を発見するコロンブスの様に来賓席を見ています。壇上からは丸見えです。森田Tがコロンブス達の近くに座り阻止しましたが、壇上にいる来賓の方々にはどんな学校に映ったでしょう。拍手の際も、**パチパチパチ…、パチっ…パチっ……パチっ……パチっ**

静寂を遮る拍手を続ける無粋な者達、式を台無しにしていました。第一部終了後に帰ってしまう来賓者も出て当然でした(ため息…)。

式典妨害者の事は置いておき、式典自体はいろいろと感慨深いものがありました。本校2回生であり、昨年まで10年以上本校体育教師・学年主任等を努めていただいた同窓会長の信川先生の祝辞が同窓会副会長によって代読されました。

「伊川谷の文字が校名から無くなってしまうのは寂しいが、精神は残っていきます。」と、卒業生ならではの気持ちを表し、

「授業でシャベルを持ち、農道を整備し…」など、神陵台バス停から本校までの通学路(現在の4車線道路は存在しなかった)の整備など、当時を振り返る話を皆で聞き入りました。

PTA会長のお言葉、

「先生達の言う事、うるさい・ウザいって思う事、卒業したら皆さんが思われますよ。仕事の信用は小さな事の積み重ねです。」

は、私たち教員の胸の内を言葉にしてくれた内容でした。

記念行事では、吹奏楽部演奏・コンピューター部作成の動画が流れた後、卒業生の座談会(含む生徒会長)が行われ、

「高2の冬、阪神・淡路大震災」

「マクドで勉強会」

「中国語の授業がタメになった」

など、高校時代の思い出が語られました。そわそわしていた人達、聞いてた??

「縁がすべて！」

ずーっと私語したりそわそわしていた人達、聞いてた??

聞いてる人居ます

運転免許っていつから取るのOK？

「先生、自動車の免許っていつから取りに行っていいんですか？」

こんな質問がちょくちょく出てくる様になりました。

お答えしよう！

自動車の免許を取るために教習所へ行く手順は、

①『自動車教習所入所願』の用紙を担任の先生からもらって提出（入所の手続きは12月1日から可能です）

②実際に教習所に通い始めてよいのは、自由登校期間から（1月27日～）

③教習所の教習を修了し、明石の運転免許試験場へ免許証所得に行くのは3月1日以降

です。そしてもちろんの事だけど、『卒業見込み』である事。運転免許の取得は必ずこれらの手順を踏んで下さい。その他、何か不明な点がある場合ば、担任の先生または学年指導の先生に尋ねて下さい。

卒業まで絶対勝手に取らないでネ

2学期期末試験時間割

大人がよくされる質問、

「もし過去に戻れるなら、いつの時代に戻りたい？」

「高校時代！あ、でも試験は無しでっっ」

という位、大人になったら高校生活は懐かしくなるモノ、そしてそれでも試験はやっぱり苦しいみたいです（苦笑）。。。そんな定期試験もあと残り2回、

しっかりしぃや～

人文&国際

	12/4(木)	12/5(金)	12/8(月)	12/9(火)	12/10(水)
1限	世史探/日史探	地理総合	昭和平/20世紀	英コミュⅢ	論理国語
2限	選択⑪※1	古典探究	選択⑨※2		論理表現Ⅲ
3限			選択⑩※3		

※1 選択⑪:実用数学2/ハングル実践/中国語実践/生活と福祉
※2 選択⑨:実用国語/実用数学1/保育基礎/異文化交流
※3 選択⑩:実用数学3/音楽Ⅲ/英語考究2/ファッション造形基礎

自然科学

1限	化学	地理総合	数学考究	英コミュⅢ	数学C
2限	論理国語	実数4/数Ⅱ	物理／生物		論理表現Ⅲ

今一度見直そう

大丈夫か？その授業態度で

各クラス、進路の決まった者が多数を占める様になってきた今日この頃です。でも、各クラス少数ですが『年越しで自身の希望進路に向かって頑張っている』者が居るのです。

授業中や休み時間、ワイワイガヤガヤなってない？参考書や単語帳見ている人の横で騒いでない？

少しの『心遣い』で周りのみんなが笑顔になれる、それが『高校生活』です。そしてその先にある『社会生活』に結びついていきます。みんな今一度、今の生活態度を見直してみてな！

イカ高プチアートギャラリー

生徒昇降口のガラスケース内に『美術Ⅲ』選択者の作品が展示されています。タイトルは『食器をデザインする』、説明書きには『ゼンタングルという技法を使ってデザインを考え、陶器専用のペンでカップとお皿に絵付けをしました。』と記されてます。見るとその出来に思わず目を奪われます。是非一見！

美術品ですよ、マジ

天性人語48th

私の愛読書の一つに、漫画『島耕作』シリーズ（弘兼憲史作）というのがある。▼この漫画は1983年『課長島耕作』から始まり、連載とともに主人公も歳をとり、タイトルも『部長…』『取締役…』『常務…』『専務…』『社長…』『会長…』『相談役…』と変わり、これで終わりと思いきや40年以上経った現在『社外取締役島耕作』として連載は続いている。松下電器（現・パナソニック）を参考に、電機メーカーに勤める島耕作の仕事ぶりを描いた漫画である。▼漫画なのでかなりの誇張はあるが、企業とその中で働く人間の、表の部分や裏の部分、派閥抗争や出世競争など、かなりリアルに描かれているのではないかと思う。▼教師の職というのは、やはり一般社会とはかなりかけ離れた仕事である。卒業生の多くは一般社会で働くであろう。なので、私はできるだけ一般社会、企業で働く友人達から話を聞いて、世間ズレしない様に心掛けてはいるが、それでもまだまだである。▼『常務島耕作』の作中、出世した島耕作は語っている。

「人生の5割は自分の力で変えられるが、残りの5割は他力の部分だ。俺はその残りの5割で運が良かった」と。そうなのだ、実力だけではどうにもならないのが現実社会である。▼しかし、『運も実力のうち』と言うではないか。実力がなければ運も来ない。やはり必要なのは『実力』なのである。実力をつけるのはいつですか、それは今でしょう。

（福田）

兵庫県立伊川谷高等学校 48回生
発行所　〒651-2104
神戸市西区伊川谷町長坂 910-5
県立伊川谷高校　印刷室
電話　代表 078-974-5630
FAX　078-974-5631
https://www2.hyogo-c.ed.jp/weblog2/ikawadani-hs/

紙面から

5 4 3 2 1

創立50周年記念式典
2学期期末試験時間割
免許っていつからOK？
ジャズバンドに皆圧倒！
撮影卒アル集合写真

兵庫県立伊川谷高等学校 校歌（3番）

作詞　黒部　亨
作曲　岡村　鐘治

見はるかす
試練の道は　遠くとも
われらに自主の　誇りあり
眼あげ　たくましく
あすの世紀に羽ばたくところ
なつかし母校　伊川谷高校

学年キャッチフレーズ
笑顔・夢

校訓
自主 協同

伊川谷高校という学舎。

IKAWADANI HIGH SCHOOL
若者の未来を託される学校として
https://www2.hyogo-c.ed.jp/weblog2/ikawadani-hs/

成績はどうにもならない。
あなたは、そう思っていませんか？
しかし、成績は
根こそぎ上げる事ができます。
その「学習法」と「能力」をあなたに。
期待の高校！
奇跡は夢叶う高校から始まった
伊川谷高校
多くの笑顔発
〒651-2104神戸市西区伊川谷町長坂910-5伊川谷高校
078-974-5630　http://www.hyogo-c.ed.jp/~ikawadani-hs/

読者のページ

School Teacher @ Voice

進路研究

入試結果は自ら報告が礼儀です

ボチボチと公募推薦や指定校推薦の結果が出てきてます。結果が×で報告しにくい場合の心情は理解できますが、〇でも「・・・・・・」の人、居ませんか？受験は自分1人で行える訳ではありません。見えないところで多くの人が沢山の手助けをしているのです。もちろん学校の教師もです。なので、**「結果が〇だろうが×だろうが、自ら報告をする！」**は人としての『最低限の礼儀』だと思います。必ず自ら報告に来てね。

受験の結果によっては、担任が渡した調査書が不必要になる場合があります。そんなときは、**「決して中を覗かないで下さいね」**鶴になって飛んでいく…という訳ではありませんが、重要書類なので使わなかったら必ず**担任に返却**して下さい。

インフルエンザが流行ってます
皆さんも、うがい手洗いに気をつけてネ

撮影しました 卒アル集合写真

高校生活3年間のメモリアルとなる1冊の本『卒業アルバム』の制作もいよいよ佳境に入ってきています。11月5日(水)の6限目、学年集会で黒田Tからのお話「學年通信93号」をいただいた後、全員で中庭に移動し、全体写真の撮影が行われました。その時の様子が如何ほどだったのか、本誌記者がその真実に迫ります。

最初はクラスごとに列になっていたのですが、写真の性質上、斜め上から撮影すると、台形の様に奥がすぼまってしまいます。

「奥の子ら、ちょっと奥へ出てきてくれる？右側に少しスペースができてるから、誰かそこに移動して。」

こうして、台形が徐々に形を崩しはじめ、全体的に散らばり出しました。

「真ん中、ちょっと空けてくれるかな？」

指示が出ます。真ん中（後で写真を見ると、空きが左に寄ってますが…）の人の居ない場所は、卒業アルバムのページ見開きライン になるのです（成る程！）。

こうやって撮ったのが写真です。当日は日差しもキツくなく、影も良い感じでぼけています。よく、『それはアウトや！』というポーズ等をして、結局使えない写真となってしまう年もあるのですが、とりあえず今年は大丈夫そうです（上記写真は本誌編集長のカメラで撮影されたものであり、実際に卒アルに使用されるのは、写真屋のTさんが一眼レフで撮った写真です）。

11月21日現在、クラス写真が撮れているのは1＆3組のみです。今は令和の時代、昭和の卒アルの様に、『欠席者は余白部分に四角枠で』という訳にはいきません。さて、残りのクラスが全員揃うのは一体いつの事になるのやら？我々学年団の悩みは尽きませぬ…（泣）。

48回生全体の集合写真です

芸術鑑賞会 ジャズバンドに皆圧倒！

発展的統合による3校合同行事でした

3年生も大きな行事が次々に終わりを迎えます。そんな中、今回は何と特大！発展的統合によって実現した、伊川谷高校・伊川谷北高校・神戸学園都市高校の『3校合同芸術鑑賞会』を行いました。11月18日(火)の午後、場所は再び『神戸文化ホール』です（10日前に50周年記念行事で来ましたね）。

13時半の開演、まばゆい光と鳴り響くサウンド、それをフェイントに、背後からやんちゃそうな5名のオジさん達が登場しました。

これが今回の芸術鑑賞会『BLACK BOTTOM BRASS BAND』です。

「俺らの音楽は聴く様なんとちゃうから！全身にビシャビシャに浴びてな！」

そんな感じでグイグイと盛り上げようとしていきます。エイトビートのリズムを手と足で再現し…

ドンパン、ドドパン♪

こういうときのイカ高生、度を超えて盛り上がります（困ったモノです汗）。

途中から、伊川谷北高校吹奏楽部も加わり、派手にドンチャカ♪やって終了しました。もちろん

「アンコール♪ アンコール♪」

もありました（笑）。

因みに、今回の芸術鑑賞会は大ホールで行われましたが、隣の中ホールでは、『暴力団追放兵庫県民大会』が行われており、イカ高生が文化ホールに入っていくとき、強面の屈強そうな方々がたくさん中ホールに入っていきました。このときのイカ高生、ちょっとだけおとなしかったです。

講演開始前の会場内の様子

BLACK BOTTOM BRASS BAND が皆のためにくれたシールですが、ここに貼って配らせてもらいますネ。⇦

伊川谷高校45回生の日常を知るならこの1枚！「學年通信」

3年あれこれ

▼朝風呂　遅刻者Iさんの入室許可証を見ると、遅刻理由が『朝風呂』。

「朝風呂入らんかったら間にあっとったんちゃうんか？」

というと、

「昨日寝ちゃって(へっ)」

愛想振りまいてもダメです。今週遅刻3回目！

▼愛されてます

「今日、野田先生来る？」このセリフ、この日一体何人の生徒から聞いただろう。11月8日(土)に行われた創立50周年記念式典に、野田先生が駆けつけてくれました。周年行事だったという事もありますが、それ以上に『皆の事が気になっていた』のでしょう。野田先生も皆も、互いの愛を感じたひとときでした。ありがとう、野田先生。

▼周年行事立て看板　神戸文化ホールの入り口に、本校50周年記念式典の会場を示す立て看板が設置されていました。会場内に入ると、50thと書かれた大きな布ポスターが天井から何枚も下げられていました。『文化ホールって、ここまで祝ってくれるんだ！』と思ってよく見ると、神戸文化ホールも開館50年だったんですね。あはは。

野田T に駆け寄る生徒達

▼裏方　50周年記念式典当日、生徒入場開始は11時45分からでしたが、生徒会やアニバーサリースタッフの生徒達は、もっと早くから集まって、準備等の裏方作業を行ってくれていました。その作業は多岐に渡りました。市会議員さんの案内役にあたった人は、さぞかしドキドキした事でしょう。皆さん、ありがとうございました。

入り口の立て看板

イカ高 消えた謎の組織

伊川谷高校の組織における応援団の位置

2023年度の生徒手帳77ページです

『ショッカー』『黒十字軍』『ブラックゴースト』『死ね死ね団』…、これらは謎の組織として暗躍しますが、正義の味方に壊滅させられます。しかし、これらの組織とは何の関係もありませんが、ここ伊川谷高校にも『謎の組織』が存在するのです。いや、したのです。

その組織の名は『応援団』。

「何？それは？聞いたことない！」

当然です。本校大好き教師である本誌編集長もその実態を未だ見たことがありません。しかし皆が1年次に配られた生徒手帳の77ページには、キチンと『応援団』の名が記されています。何と執行委員会直轄の組織であることが見て取れます。この伊川谷高校最大の謎の組織『応援団』も、今年の生徒手帳では、その存在がひっそりと消されていました。その存在が闇に葬られた、伊川谷高校『応援団』。一体どんな組織だったのだろう？

創立50周年記念祝賀会に参加した本校OBに確認すればよかった―っ

命あるからこそ、たくさん感じる事ができるのです

みんなの笑顔と過ごす、あたたかい学校　伊川谷高校

▼階段　深夜の学校、誰も居ないハズの音楽室から聞こえてくる、不思議な音階のピアノ音…。見回りの校務員さんがそっと扉の小窓を覗くと…

ぎゃぁぁぁぁーっっ

それは『怪談』です。今回はそっちじゃなくて『階段』です。『素描』の授業、校舎内に場所を決め、デッサンに励む生徒達が居ます。だんだん季節も寒くなる中、

風邪引くなよ～っ

階段でデッサン中です

総出で準備中です

▼自分を追い込み中　タイトル通りです。昼休みも食堂で参考書を開いて追い込み中です。

昼休みも勉強です